

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月28日

上場会社名 株式会社 両毛システムズ

上場取引所 東

コード番号 9691 URL <http://www.rvomo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 秋山 力

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部部长

(氏名) 上山 和則

TEL 0277-53-3131

四半期報告書提出予定日 平成26年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	7,673	14.7	571	956.1	591	683.9	231	—
25年3月期第3四半期	6,688	4.4	54	—	75	—	15	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 263百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 16百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	66.03	—
25年3月期第3四半期	4.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	9,965	6,258	62.8
25年3月期	9,688	6,061	62.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,258百万円 25年3月期 6,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	6.8	480	161.5	490	136.5	180	169.7	51.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	3,510,000 株	25年3月期	3,510,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	11,035 株	25年3月期	11,035 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	3,498,965 株	25年3月期3Q	3,498,965 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出は弱含んでいるものの、生産の緩やかな増加や設備投資の持ち直しなど企業収益の回復傾向や個人消費も増加するなど、景気は緩やかに回復していると思われましました。

情報サービス産業におきましては、消費税増税やパソコンOSのサポート終了による駆け込み需要など機器販売の増加および企業の収益改善等により情報化投資は緩やかに回復しているものの、自治体市場においては一般競争入札の浸透により導入価格は引き続き低下傾向で推移しており、市場環境は厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社および連結子会社（以下、当社グループ）では、公共分野および民間分野とも引き続き受注拡大ならびに収益構造の改善に取り組んでまいりました。

その結果、売上高は7,673百万円（前年同期比14.7%増加）、営業利益は571百万円（前年同期比956.1%増加）、経常利益は591百万円（前年同期比683.9%増加）、四半期純利益は231百万円（前年同期は15百万円）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの一部を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

#### （公共事業セグメント）

公共事業セグメントでは、受託計算サービスは引き続き減少傾向にありますが、自治体向け「G. B e \_U（ジービーユー）」（超次世代電子行政システム）や水道事業向け「W I N S（ウインズ）」などのパッケージシステム、システムリプレース、ソフトウェアプロダクト販売、機器販売が好調に推移いたしました。その結果、売上高は3,799百万円（前年同期比13.5%増加）、セグメント利益は400百万円（前年同期は1百万円のセグメント損失）となりました。

#### （社会・産業事業セグメント）

社会・産業事業セグメントでは、ガス事業者向け「G I O S（ジーオス）」や印刷業向け「P r i n T a c t（プリンタクト）」などパッケージシステムが好調に推移したほか、受託ソフトウェア開発やコンサルティング業務も好調に推移いたしました。その結果、売上高は3,874百万円（前年同期比15.9%増加）、セグメント利益は699百万円（前年同期比28.1%増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 財政状態に関する分析

##### （流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は6,207百万円となり、前連結会計年度末に比べ156百万円の増加となりました。これは主に、現預金の増加およびたな卸資産が増加した事等によるものであります。

##### （固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産の残高は3,758百万円となり、前連結会計年度末に比べ120百万円の増加となりました。これは主に、設備投資が増加した事等によるものであります。

##### （流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債の残高は2,355百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金が増加した事等によるものであります。

##### （固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債の残高は1,351百万円となり、前連結会計年度末に比べ86百万円の減少となりました。これは主に、1年内に返済予定の長期借入金を流動負債に振替えた事等によるものであります。

##### （純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は6,258百万円となり、前連結会計年度末に比べ197百万円の増加となりました。これは主に、四半期純利益が231百万円となったことにより利益剰余金が増加した事等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ664百万円増加し、1,570百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産の増加等の減少要因がありましたが、税金等調整前四半期純利益が416百万円となった事および売上債権の回収等の増加要因により1,206百万円（前年同期は313百万円）の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資による有形固定資産の取得および開発投資による無形固定資産の取得等により376百万円（前年同期は82百万円）の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により166百万円（前年同期は163百万円）の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの平成26年3月期の連結業績予想につきましては、消費税増税による駆け込み需要も見込まれますが、売上の前倒し計上等もあり、平成25年10月28日に発表した内容に現時点で修正はありません。

なお、上記連結業績予想は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいておりますが、予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における内外状況の変化により、実際の業績数値が予想の数値と異なる場合がありますことをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	710,903	983,302
受取手形及び売掛金	2,539,390	1,447,884
リース投資資産	1,046,567	1,227,909
有価証券	—	200,000
たな卸資産	276,171	797,530
その他	1,478,309	1,550,912
貸倒引当金	△352	△247
流動資産合計	6,050,988	6,207,291
固定資産		
有形固定資産	937,068	995,403
無形固定資産		
ソフトウェア	812,026	814,488
ソフトウェア仮勘定	109,106	18,521
その他	264,480	325,065
無形固定資産合計	1,185,614	1,158,074
投資その他の資産	1,515,137	1,605,056
固定資産合計	3,637,820	3,758,534
資産合計	9,688,809	9,965,826
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	408,228	383,098
短期借入金	381,600	511,600
未払法人税等	39,520	165,166
賞与引当金	401,208	204,035
受注損失引当金	74,402	14,112
その他	884,684	1,077,028
流動負債合計	2,189,644	2,355,041
固定負債		
長期借入金	532,200	321,000
リース債務	900,552	1,025,217
その他	5,397	5,624
固定負債合計	1,438,150	1,351,841
負債合計	3,627,795	3,706,882
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,966,900	1,966,900
資本剰余金	2,453,650	2,453,650
利益剰余金	1,585,359	1,802,407
自己株式	△8,513	△8,513
株主資本合計	5,997,396	6,214,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,512	44,500
その他の包括利益累計額合計	16,512	44,500
少数株主持分	47,104	—
純資産合計	6,061,013	6,258,944
負債純資産合計	9,688,809	9,965,826

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,688,509	7,673,538
売上原価	5,601,459	6,009,396
売上総利益	1,087,049	1,664,141
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	490,822	476,162
賞与引当金繰入額	85,562	100,064
その他	456,596	516,866
販売費及び一般管理費合計	1,032,980	1,093,093
営業利益	54,069	571,047
営業外収益		
受取利息	4,361	6,036
受取配当金	6,600	5,805
受取賃貸料	6,577	7,068
転リース差益	11,365	13,665
その他	7,564	3,825
営業外収益合計	36,469	36,402
営業外費用		
支払利息	8,804	9,144
賃貸収入原価	1,673	2,078
その他	4,562	4,364
営業外費用合計	15,040	15,587
経常利益	75,498	591,862
特別利益		
固定資産売却益	126	27
投資有価証券売却益	714	—
負ののれん発生益	—	4,704
抱合せ株式消滅差益	—	2,306
特別利益合計	840	7,037
特別損失		
固定資産売却損	106	15
固定資産除却損	2,065	9,850
開発中止損失	—	172,131
投資有価証券評価損	1,296	—
特別損失合計	3,469	181,997
税金等調整前四半期純利益	72,869	416,903
法人税等	56,059	181,364
少数株主損益調整前四半期純利益	16,809	235,538
少数株主利益	1,028	4,495
四半期純利益	15,781	231,043

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	16,809	235,538
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△543	27,988
その他の包括利益合計	△543	27,988
四半期包括利益	16,266	263,526
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	15,237	259,031
少数株主に係る四半期包括利益	1,028	4,495



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	72,869	416,903
減価償却費	120,761	118,645
無形固定資産償却費	238,128	322,044
負ののれん発生益	—	△4,704
開発中止損失	—	172,131
抱合せ株式消滅差損益 (△は益)	—	△2,306
前払年金費用の増減額 (△は増加)	40,040	△62,034
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△51,030	△197,172
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△35,360	△60,290
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△424	△105
受取利息及び受取配当金	△10,962	△11,842
投資有価証券売却損益 (△は益)	△714	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,296	—
支払利息	8,804	9,144
為替差損益 (△は益)	374	1,050
固定資産売却損益 (△は益)	△19	△11
固定資産除却損	2,065	9,850
売上債権の増減額 (△は増加)	1,126,389	960,485
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△821,731	△521,359
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△315,801	△118,910
仕入債務の増減額 (△は減少)	△219,623	55,542
未払費用の増減額 (△は減少)	△19,782	△27,422
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△23,081	106,141
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	210,055	84,003
小計	322,252	1,249,782
利息及び配当金の受取額	12,141	11,855
利息の支払額	△8,534	△8,846
法人税等の支払額	△12,081	△46,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	313,778	1,206,335
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△170,000	△170,000
定期預金の払戻による収入	170,000	190,000
有価証券の売却による収入	200,000	—
投資有価証券の取得による支出	△67,977	△45,958
投資有価証券の売却による収入	833	—
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△1,660	7,764
有形固定資産の取得による支出	△69,971	△162,907
無形固定資産の取得による支出	△143,387	△195,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,163	△376,217

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	130,000
長期借入金の返済による支出	△115,800	△211,200
リース債務の返済による支出	△47,200	△70,661
配当金の支払額	—	△13,916
少数株主への配当金の支払額	—	△1,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△163,000	△166,833
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,614	663,284
現金及び現金同等物の期首残高	1,038,715	906,148
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	945
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	127,570	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,234,900	1,570,378

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,346,109	3,342,399	6,688,509	—	6,688,509
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,346,109	3,342,399	6,688,509	—	6,688,509
セグメント利益又は損失(△)	△1,562	546,019	544,456	△490,387	54,069

(注) 1 セグメント利益の調整額△490,387千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△123,154千円及び全社費用△367,233千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公共事業	社会・産業事業			
売上高					
外部顧客への売上高	3,799,043	3,874,494	7,673,538	—	7,673,538
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,799,043	3,874,494	7,673,538	—	7,673,538
セグメント利益	400,472	699,426	1,099,899	△528,851	571,047

(注) 1 セグメント利益の調整額△528,851千円には、各報告セグメントに配分していない製造補助部門費△94,902千円及び全社費用△433,948千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「社会・産業事業」に含めておりました文教事業を「公共事業」に報告セグメントを変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。